

感謝の心を伝えるために

「感謝の会」と「6年生を送る会」から

【学校の代表として心を込めた「感謝の会」】

令和2年度のまとめとなるこの2月には、1年間の「ありがとう」の気持ちを伝えるための大きな行事がありました。

一つ目は、2月3日に行った「感謝の会」です。いつも、登下校の見守りや校内の環境整備にご協力いただいている地域ボランティアの皆さんを招待し、手作りの「感謝状」や鉢植えの花を贈りました。今年は、全校を代表して6年生が、会を企画・運営し当日も参加しました。

6年生の心のこもったメッセージに、地域のボランティアの皆さんにも、大変喜んでいただけた。



【6年生の姿や心を引き継ぐ「送る会」】

二つ目は、「6年生を送る会」です。例年のように教室で行うことが難しいため、体育館や児童会室など大きな部屋を使って、実施しました。実施日も毎日に日にちを変えて4日間に渡って行いました。

「送る会1部」では、ひびきあいの班毎に集まり、ゲームをしたり、6年生にメッセージを渡したりして楽しく過ごしました。この会を企画し進行するのは、5年生の役割です。来年のリーダーを引き継ぐにふさわしいきびきびとした姿で、会を進めました。

会の最後に6年生の一人一人からのメッセージもありました。「これまで、ぼくたちの考えた遊びを楽しんでくれてありがとう」「今日の会を準備してくれてありがとう。」こんな言葉があふれていました。下級生からの「ありがとう」、6年生からの「ありがとう」それぞれの感謝の言葉でいっぱい温かい会となりました。



【「2分の1 成人式」で自分の夢を語る 4年生「総合的な学習の時間」】

4年生では、総合的な学習の時間に「2分の1 成人式」を行いました。10歳となる今の自分の成長を見つめるとともに、これからの将来に向けて自分の夢や希望をもつという時間です。

一人一人が大切にしたい言葉や文字を選び、その言葉や文字に込めた願いや希望を語りました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の広がりや不安な中でスタートした4月でした。こうしたこともあり、子どもたちが選んだ言葉や文字には、「笑」「楽」というものが多いように感じました。

4年生の子どもたちの力強い発表は、「2分の1 成人式」にふさわしい頼もしい姿であふれていました。



